

重点取組名	岩手らしい農村ライフスタイルの構築支援と普及活動手法の研究
普及活動担当	佐々木 きし子 (岩手県農業研究センター専門技術員室)
主要な活動地域・ 対象農業者	全域
取組結果・成果 (取組みのねらい)	<p>・ねらい 改良普及員が調査研究活動により農村ライフスタイルを描き、支援のための手引きとして支援体系を整理し、農業者に対する支援の際の視点やヒントを得ること。</p> <p>・取組み 取組みのねらいと目標を共有(企画推進会議の開催) 現場の課題について全員で検討(KJ法、事例調査の検討) 支援対象とその方法について検討会の開催 農業者向けの啓発資料、冊子の検討(企画推進会議の開催) 検討会の開催</p> <p>・成果 農村ライフスタイルとは個人や集団の生き方であるが、普及員として「足場となる農家経営がしっかりし、農村の良さを実感しつつ地域や生活、生産の場で自分らしさを生かした活動を展開している」、「お互いの活動を認め合うことで個々が満足できる」など、イキイキとした活動を実践している農業者のイメージを持つことができた。</p>
連携機関、協議会	普及センター
取組の特徴や取組に際しての工夫	普及員自らが現場のニーズと支援策を調査研究し、「普及活動の手引き」(冊子)として取りまとめることができた。次年度以降も継続した支援活動が期待できる。
【参考】	

